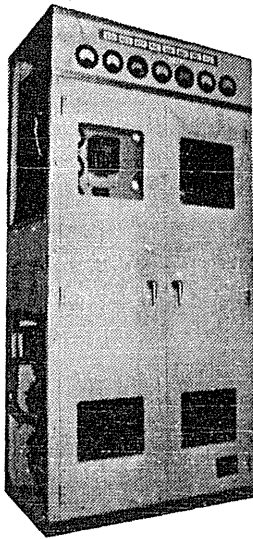
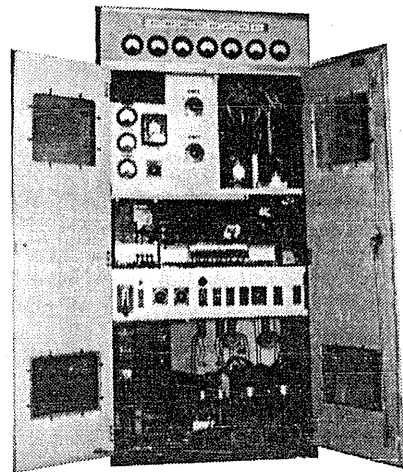


船舶用無線送受信機 (5)



正面



正面



向って左側面

発射周波数 410, 425, 432, 454,
 468, 500 及び 512 KC
 MARINE RADIO TRANSMITTER
 TYPE TSG-500MF
 No TG-515
 OUT PUT POWER 500W
 AUG. 1951
 KOKUSAI ELECTRIC CO., LTD.
 KYORITSU DENPA CO., LTD.

写真は運輸省航海訓練所所属の先代海王丸
 (JLPC) で使用されておりました無線電信送信
 機です。同船は先代日本丸 (JLFC) と時を同じく
 して設計され、建造されましたが竣工は若干遅
 かったようです。その後の両船は同じ練習船と
 しての道をたどっています。

いうまでもなくこのころの船舶、航空機及び
 その他の無線局もすべて逓信省の監督を受けて
 おりますが、これらの練習船は太平洋戦争開始
 と共に文部省から逓信省また運輸省と所属も変
 わり、戦時中は帆装も撤去されながらも、練習
 船としての機能は保持されていました。

日本丸・海王丸 50 年史によりますと、この
 2 隻は東京湾に閉じ込められ、その近傍の小航
 海に終始していましたが、昭和 18 年 1 月 23 日、
 横浜浅野ドックでヤードを全部取りはずし、1、
 2 番船艙の固定バラストを陸揚げし、船体をね
 ずみ色に塗り替えたとあります。

戦前日本が保有した商船等の数は通報第 306
 号に掲げておきましたが、戦時中に海軍省発行

(昭和 19 年 9 月) の呼出符号表の中には一般商
 船等と思える船舶が 2060 隻ほどあります。

戦後、日本で最初に発行されました「船舶無
 線電信、無線電話局名録 (昭和 22 年 10 月末日
 現在、昭和 23 年 1 月 20 日、社団法人水産無線
 協会発行、逓信省監修)」によりますと、商船等
 644 隻、漁船 (電信、電信電話又は電話のいづ
 れかの無線設備のものを含みます) 数は 1064
 隻で合計 1708 隻です。この中に先代日本丸及
 び先代海王丸等も記載されています。

このように戦前、戦中及び戦後を過ごしてき
 ました先代海王丸も平成元年 9 月 16 日廃船、
 平成 2 年 3 月 1 日富山に向け浦賀を出港しまし
 た。写真の無線電信送信機は先代海王丸で使用
 された無線設備の一部ですが、新海王丸 (JM
 MU) も客船兼練習船として既に就航し、両船
 共本学及び旧制度の卒業生が教官及び無線従事
 者として活躍しております。

(本学名誉教授 宮坂武芳)